

【義満以前】 14世紀の情勢

(a) 日本…他国と正式な国交なし 元とは私貿易のみ

- <例> 1 建長寺船[1325] (修理費用：鎌倉幕府)、  
 2 天童寺船[1342] (築造費用：3 足利尊氏・直義)

(b) 4 倭寇 (5 前期倭寇)…商人・武士の海賊行動  
 ※「元寇の報復」説あり

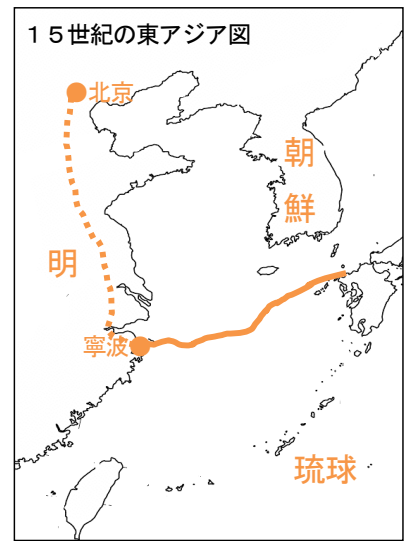
【時期】 14世紀中～後期

【拠点】 6 対馬・壱岐・肥前松浦 (三島倭寇)

【活動】 7 朝鮮半島及び中国北部の沿岸で、人・米・金品などを略奪  
 ……高麗は日本に禁圧要請→効果なし →高麗衰退 →滅亡

(c) 8 明 の成立[1368]…9 洪武帝(朱元璋) 建国 漢民族国家の復活

→10 伝統的国際関係(冊封体制)の復活・私貿易の禁止(11 海禁 政策)



義満の東アジア外交

【日明貿易】

【国交樹立】 ※最後の遣唐使(838年)以来560年ぶり 【目的】 倭寇禁圧(明)・貿易の利益(日本)

12 1401 義満、僧 14 祖阿 (側近の僧侶)、15 肥富 (商人)らを派遣 義満は「16 日本准三后」と自称  
 →1402. 返書に「17 日本国王源道義」 →1403. 「18 日本国王臣源」と自称…明への臣従(19 冊封)

【特色】 20 朝貢貿易 …「朝貢」と「返礼」、滞在費・運搬費は明が負担→大きな利益

21 勘合貿易 …22 勘合符を使用(貿易の統制、倭寇との区別) 23 勘合船(遣明船)とよぶ

本字勘合(日本船)と日字勘合(明船) 27 寧波 で勘合の照合→北京で交易

【輸出】 28 銅、29 刀剣、硫黄、金、扇、蒔絵、漆器、屏風など

【輸入】 59 銅銭、51 生糸、陶磁器、高級織物、書籍、など

【日朝貿易】 52 朝鮮 の成立[53 1392]…54 李成桂 が建国 →義満、国交樹立[1401]

【特色】 55 対馬の宗氏の統制下 56 通信符や図書(通行証)を使用 頻繁な交易 西国守護大名・商人の参加

【輸出】 57 銅、硫黄、蘇木、香木、刀剣など ☆蘇木(染料)・香木は58 琉球からの輸入品

【輸入】 58 綿布、59 大蔵経(一切経)、朝鮮人参など

## その後の展開

《明》 15C前半まで 幕府主導(重要な財源)

義満：積極的(6年で6回) →<sup>60</sup>義持：朝貢形式を嫌い義満の死後、<sup>61</sup>中止[1411~32]

→<sup>62</sup>義教<sup>のり</sup>：再開[1432~]…以後、ほぼ10年に1回、3隻300人

15C後半以降 実権は有力守護大名・商人に移る

<sup>63</sup>細川氏・<sup>64</sup>堺商人 ↔ <sup>65</sup>大内氏・<sup>66</sup>博多商人

1523. <sup>67</sup>寧波の乱…両者が衝突→大内方勝利→以後、貿易を独占

<sup>68</sup>1551. <sup>69</sup>大内氏滅亡→貿易は途絶える

《朝鮮》 ☆貿易港：<sup>70</sup>富山浦<sup>フザンポ</sup>(釜山)・<sup>71</sup>乃而浦<sup>ナイジホ</sup>(齊浦)・<sup>72</sup>塩浦<sup>ウルサン</sup>(蔚山)…<sup>73</sup>三浦と総称

☆<sup>74</sup>倭館…朝鮮が日本使節接待のため、漢城と三浦に設置 多数の日本人が居留

<sup>75</sup>1419. <sup>76</sup>応永の外寇…朝鮮軍による対馬(倭寇の根拠地)襲撃

日朝貿易中断 →1423. 国交回復

1510. <sup>77</sup>三浦の乱…三浦の居留日本人の暴動(特権の縮小に反発) →以後、日朝貿易は衰退

《後期倭寇》<sup>78</sup>16C後半 中国南部・南海地方で活動 <sup>79</sup>明の密貿易者が大半

→1588. <sup>80</sup>豊臣秀吉による禁圧(<sup>81</sup>海賊取締令)

## 沖縄と北海道

沖縄 グスク時代(12~15世紀)…各地に<sup>82</sup>城(グスク) 豪族(<sup>83</sup>按司<sup>あじ</sup>)が勢力を広げる

→<sup>84</sup>北山・中山・南山の3王国 →<sup>85</sup>尚巴志(<sup>86</sup>中山王)が統一

→<sup>87</sup>琉球王国成立[1429] 首都<sup>88</sup>首里(首里城)

☆<sup>89</sup>琉球貿易…東アジア諸国間の<sup>90</sup>中継貿易で繁栄(←明の海禁政策) 日本にも朝貢

インドシナ半島やインドネシアへも <sup>91</sup>那覇港の繁栄

対日<sup>92</sup>輸出 蘇木、香料、象牙、砂糖など <sup>93</sup>輸入 刀剣、扇、屏風など

→衰退(16世紀半ば~) <sup>94</sup>ポルトガル商人の進出・明の海禁政策の緩み

北海道(<sup>95</sup>蝦夷ヶ島) <sup>96</sup>アイヌが居住…漁労・狩猟・交易を生業

鎌倉期 津軽の豪族、<sup>97</sup>安藤(東)氏が<sup>98</sup>十三湊を拠点にアイヌとの交渉を管轄

室町期 安藤氏配下の<sup>99</sup>和人(シャモ)が蝦夷地南部に進出→沿岸に居留地…<sup>100</sup>道南十二館<sup>たて</sup>

→次第にアイヌを圧迫→1457. <sup>101</sup>コシャマインの戦…大首長を中心にアイヌ諸部族の蜂起

→安藤氏の代官<sup>102</sup>蠣崎氏により鎮圧

【正誤問題に挑戦】<センター1993 追試、1998日本試より>

① 尚巴志の三山統一により誕生した琉球王国は、アジアの中継貿易基地として繁栄し、室町幕府とも交渉をもった。

② 15世紀、足利将軍は自らを「日本国王」と称し、中国皇帝とのあいだで対等な関係を維持した。

中世20 (欠番)

名称と時期 室町文化 14世紀後半～16世紀前半

南北朝文化→北山文化[1義満期]→東山文化[2義政期]とその後

- 特色
- ①新しい武家文化…公家文化を吸収、大陸文化の影響
  - ②禅宗文化の影響←禅僧の往来・日明貿易
  - ③文化の地方への普及…特に応仁の乱以降
  - ④「日本的」文化の開花 <例> 茶の湯、生け花、書院造 ⑤集団で楽しむ文化

臨済宗の発展 3臨済宗の発展…幕府(北朝)の保護 ※幕府の政治外交顧問としても活躍

南北朝 4夢窓疎石…後醍醐・足利尊氏・直義らが帰依 南禅寺住持 著書『夢中問答』

尊氏・直義に勧めて→

- 京都に5天童寺…後醍醐の冥福を祈る 資金調達→元へ6天童寺船
- 国毎に安国寺・利生塔…元弘の変以降の戦没者の冥福を祈る

北山 7五山・十刹…官寺制度(南宋の制度を模す) 幕府が与える臨済宗の寺格 義満期に確定

☆8僧禄…官寺や禅僧の任免・統括 9相国寺に設置 春屋妙葩(夢窓疎石の弟子)が初代  
 …義満が花の御所の隣に建築

京都: 別格10南禅寺 一位11天童寺 二位12相国寺 三位13建仁寺・四東福寺・五万寿寺  
 鎌倉: 一位14建長寺 二位15芭覚寺 三寿福寺・四浄智寺・五浄妙寺

臨済宗以外の宗教の動向

【法華宗(日蓮宗)】 16日親…京で辻説法 『17立正治国論』を將軍義教に →弾圧「鍋かむり」

→京の18町衆(有力商人)へ普及 →19法華一揆(1532～36)

【20林下】五山(叢林)派に属さない禅寺 幕府の庇護はないが自由な活動→民間布教など

<例>臨済宗: 21大徳寺・妙心寺 曹洞宗: 永平寺・総持寺(能登)

22一休宗純…大徳寺派 奇行 五山を権威的・偽善的として批判 詩集『狂雲集』

【一向宗(浄土真宗)】諸派に分裂(本願寺派・専修寺派・仏光寺派など)

23蓮如(兼寿)…本願寺派(8世) 農民普及に努力→近畿・東海・北陸へ普及→各地で一向一揆

- ・24講を組織…信仰・相互扶助の小集団
- ・25御文(御文章)による平易な教え
- ・坊主(寺坊主・毛坊主)を中心に門徒の団結
- ・寺院中心に26寺内町の形成

拠点 京都大谷の27本願寺→1465. 延暦寺が焼討→→越前の28吉崎道場(御坊)

→河内 →1478. 山科本願寺 →1496. 石山御坊へ

【その他】

29唯一(吉田)神道…30吉田兼俱(京都吉田神社神官)が確立

31反本地垂迹説 仏・儒・道教を取り入れる 幕府と結ぶ

民間信仰 <例> 地蔵信仰、福神信仰(七福神など)、観音信仰(霊場巡り)、伊勢詣、熊野詣など

**建築・庭園・美術** ☆<sup>どうぼうしゅう</sup>32 **同朋衆**の活躍…僧の姿で將軍などに近侍、芸能・茶事・雑用などに従事

相阿弥(建築)、能阿弥(水墨画)など「～阿弥」の名が多い

- 南北朝** 建築 永保寺開山堂(禅宗様)…岐阜 夢窓疎石が開く  
庭園 池泉回遊式 <例> 天竜寺庭園・<sup>こけ</sup>36 **西芳寺(苔寺)庭園**…夢窓疎石による  
絵画 <sup>37</sup>**水墨画**…墨の濃淡と線の太さのみで表現 画僧が描く禅宗の宗教画

<例> 黙庵(「布袋図」)、可翁(「寒山図」)

絵巻物 『<sup>ほきえことば</sup>慕帰絵詞』(藤原隆盛・隆章: ※琵琶法師の絵)

- 北山** 建築 <sup>38</sup>**金閣**(<sup>39</sup>**鹿苑寺** 舍利殿)

…義満の<sup>40</sup>**北山山荘(北山第)**

初層中層は和様(寝殿造)、

上層は禅宗様 内外に金箔

興福寺東金堂・五重塔(再建 和様)

庭園 鹿苑寺庭園…代表的な池泉回遊式庭園

絵画 水墨画 <sup>41</sup>**明兆**(<sup>ちようでんす</sup>兆殿司)

<sup>42</sup>**如拙**(「<sup>ひょうねん</sup><sup>43</sup>**瓢鮎図**」 妙心寺)

※義持の命で禅の公案を描く

<sup>44</sup>**周文**(「<sup>かんざんじつとく</sup>寒山拾得図」)

- 東山** 建築 <sup>45</sup>**書院造**…禅寺の書齋から

床の間・<sup>あかりしょうじ</sup>違い棚・<sup>つけしよいん</sup>明障子・<sup>ふすま</sup>付書院・襖

<例> <sup>46</sup>**銀閣**(<sup>47</sup>**慈照寺** 観音殿)…<sup>48</sup>**義政の東山山荘** 下層は書院造、上層は禅宗様

<sup>49</sup>**慈照寺** <sup>とうく</sup>**東求堂** <sup>50</sup>**同仁齋**

庭園 <sup>51</sup>**枯山水**…石・砂で自然を表現 <sup>せんずい</sup>山水河原者(作庭に優れた賤民 <例>善阿弥)

<例> <sup>52</sup>**童安寺石庭**(「虎の子渡し」)、<sup>53</sup>**大徳寺大仙院庭園**

従来の<sup>ちせん</sup>池泉回遊式庭園も <例> **慈照寺庭園**

絵画 水墨画 <sup>54</sup>**雪舟**…水墨画を大成 題材など禅宗(宗教画)からはなれる

山口(大内氏の保護)等、各地を遍歴 明へも渡る →弟子雪村

<例> 「<sup>55</sup>**四季山水図巻**(<sup>56</sup>**山水長巻**)」「<sup>57</sup>**秋冬山水図**」「**天橋立図**」

大和絵…朝廷や幕府の御用絵師たちの活躍 水墨画とも融合

<例> <sup>58</sup>**土佐光信**…「清水寺縁起絵巻」 **土佐派**を復興

<sup>59</sup>**狩野正信**…「<sup>しゅうもしゆくあいれんず</sup>周茂叔愛蓮図」 <sup>60</sup>**狩野派**を興す → 子の<sup>61</sup>**元信**(「<sup>62</sup>**大仙院花鳥図**」)

**正誤問題練習** <大学入試センター1991年本試験、1998年B追試験>

- ① 東求堂の同仁齋のように、床・棚・明障子・襖をもちいた書院造という建築様式ができた。 ○
- ② 浄土真宗の蓮如は、その教えを御文という平易な仮名書き文に書き、門徒組織の講などに送って信仰を固めさせた。 ○

芸能

南北朝 1 連歌…短歌の上句と下句を分けて交互に詠み連ねる …… 『応安新式』(規則書)

『2 菟玖波集』(初の連歌集 準勅撰 関白 3 二条良基 編纂)

4 闘茶(茶種や産地を判別する競技)、 5 茶寄合(<sup>ちやよりあい</sup> 娯楽的な茶会) など

北山 6 能…猿楽が田楽を取り入れ仮面劇として完成 謡曲(台本)・能面 寺社祭礼に奉仕

<例> 7 大和猿楽四座… 8 春日神社(興福寺)が本所 ほかに近江猿楽三座など

9 観世(<sup>くわんせい</sup> 結崎)座・室生(<sup>むろせい</sup> 外山)座・金剛(坂戸)座・金春(<sup>こんばる</sup> 円満井)座

10 観阿弥(清次:父)・11 世阿弥(元清:子)…観世座 義満の保護

…………… 能の完成 『12 風姿花伝』(花伝書) (理論書)

13 狂言…庶民的喜劇 能の合間に上演 ……世阿弥元能(「申楽談義」)、金春禅竹らが継承

東山以降 連歌 14 正風連歌…芸術的な深み 和歌の伝統を引く 15 (飯尾宗祇)が完成

<例> 『16 新撰菟玖波集』(17 宗祇編纂 準勅撰) 1495

『水無瀬三吟百韻』(宗祇・肖柏・宗長) 1488

→ 18 俳諧連歌…現実的・庶民的 卑俗・滑稽さ 19 山崎宗鑑が完成

<例> 『20 犬筑波集』の編纂[16世紀前半] 荒木田守武『俳諧独吟百韻』など

茶道(茶の湯) 21 侘び茶(<sup>わび</sup> 草庵の茶)…粗末な茶室で静かに

<例> 21 村田珠光…奈良出身の僧侶 侘び茶の開祖

22 武野紹鷗(<sup>じゅうおう</sup> …堺の商人 珠光の孫弟子 侘び茶をさらに簡素化 千利休の師

華道(生け花) 立花…仏教儀礼(供華)から鑑賞目的へ 義政期に 立阿弥が活躍

→ 23 池坊専慶が芸術性を高める → 専応 → 専好 …池坊流

香道 香木をたいて匂いを鑑賞 聞香(識別する) 三条西実隆(内大臣、学者・歌人)が確立

24 小歌…民間の流行歌・民謡 → 『25 閑吟集』に多く収録

その他 曲舞(<sup>くせまい</sup> 鼓の伴奏で謡いながら一人で舞う) 幸若舞(<sup>こうわかまい</sup> 曲舞の一流派、信長など武家に愛好)、

古浄瑠璃(語り物 牛若丸と浄瑠璃姫の物語) 風流踊り(<sup>ふうりゅう</sup> 仮装や異様な風体で踊る)、

盆踊り(<sup>うらぼん</sup> 盂蘭盆会 風流踊りと念仏踊りの融合) 唱聞師(<sup>しょうもじ</sup> 寺社に隷属した遊芸人)

※工芸 後藤祐乗(<sup>うごうじょう</sup> 刀剣の目貫など 義政に仕える) 高蒔絵(漆を高く塗り上げる)ほか

教育

『26 庭訓往来』…往来物(書簡形式の教科書)の代表 教科書 他に『実語教』『童子教』など

『27 節用集』…辞書 饅頭屋(<sup>まんじゅうや</sup> 林)宗二が出版 いろは順

38 足利学校(下野)…創建は鎌倉時代→関東管領 28 上杉憲実(<sup>のりざね</sup>)が復興[1439]

ザビエルが「坂東の大学」と紹介

歴史・文芸・学問

南北朝 歴史書…歴史意識の発達 各々の立場から

北朝方：『<sup>29</sup>梅松論』…足利氏(尊氏)の繁栄を中心に描いた戦記

南朝方：『<sup>30</sup>太平記』…軍記物 小島法師(?)作 →「太平記読み」が語る

『<sup>31</sup>神皇正統記』…<sup>32</sup>北畠親房が常陸小田城で著作(1339)→後村上天皇に献上  
神国思想(伊勢神道)と大義名分論(宋学)の影響 南朝の正統性を強調

その他：『<sup>33</sup>増鏡』(<sup>34</sup>二条良基)…四鏡の一つ 後鳥羽～後醍醐 公家の立場から

『難太平記』(今川了俊)…太平記を訂正する意図 今川氏の活躍を中心に

有職故実 <sup>35</sup>北畠親房『<sup>36</sup>職原抄』 <sup>37</sup>後醍醐天皇『<sup>38</sup>建武年中行事』

和歌 『新葉和歌集』…宗良親王(後醍醐の皇子)撰 南朝方の歌人の歌

古典研究 『源氏物語仙源抄』(長慶天皇：南朝) 『河海抄』(四辻善成：左大臣)

北山 <sup>39</sup>五山文学…五山僧による漢詩文の隆盛 <例><sup>40</sup>絶海中津・<sup>41</sup>義堂周信

五山版の出版(中国書籍の再版など) <例>正平版論語

その他 『義経記』(弁慶の活躍)、『曾我物語』(曾我兄弟の仇討ち)

東山以降 <sup>42</sup>御伽草子…通俗短編小説 庶民の願望を反映<例>出世 奈良絵本の形式で普及

<例>「一寸法師」、「物くさ太郎」(怠け者の田舎者が出世)、「文正草子」(製塩業で成功)、

「福富草紙」(放屁で出世)、「浦島太郎」、「さるかに合戦」、「鼠の草子」、

「酒吞童子」(京の美女を誘拐する大江山の鬼を源頼光と四天王が退治)

秘事・口伝…古典の解釈を師から弟子へ

<例>古今伝授…古今集の解釈など秘伝 東常縁→宗祇→三条西実隆…→細川幽斎

☆<sup>43</sup>一条兼良の活躍 <例>『<sup>44</sup>樵談治要』(足軽の禁止など政治意見書→將軍義尚へ)

… 関白太政大臣 『公事根源』(有職故実) 『花鳥余情』(源氏物語の注釈書)

文化の地方普及 ←応仁の乱による京都の荒廃・経済の発達

<例>一条兼良(→越前・奈良へ) 万里集九(→美濃へ 江戸の太田道灌とも交流)

<sup>45</sup>南村梅軒…儒学者 吉良氏[土佐]が招く <sup>46</sup>海南学派(南学)の祖

<sup>47</sup>桂庵玄樹…五山僧 菊池氏[肥後]・島津氏[薩摩]が招く <sup>48</sup>薩南学派の祖

雪舟(出羽～豊後) 宗祇(越後～筑後、30余国)ら

☆<sup>49</sup>山口(大内氏の城下町)…日明貿易で繁栄 大内版(出版物)発行 雪舟「山水長巻」

正誤問題練習 <大学入試センター1999年B本試験、1998年B追試験>

①世阿弥は猿楽能の脚本を集成して、謡曲集の『風姿花伝』をまとめた。

②一条兼良は『樵談治要』を著し、また、有職故実や古典研究において著述を残した。○